

いわて未来づくり機構設立総会 知事あいさつ

いわて未来づくり機構設立総会の開催に当たり、呼びかけ人を代表いたしまして、ごあいさつを申し上げます。

本日ご来場の皆様方には「いわて未来づくり機構」の設立にご賛同いただき、そしてお忙しい中、このように御列席くださいましたことに、厚く御礼を申し上げます。

近年、国においては様々な改革が進み、本県においても多くの改革が進みましたが、地方が置かれた現状は容易ならざるものであると感じております。長期にわたる県民所得の低迷、回復が遅れている雇用情勢、若者を中心とする人口流出、そして地域の医師不足など、これは全国各地に共通にみられる地方の窮状であります。岩手においても県民の暮らしや仕事の現場において今申しあげたような課題があると感じております。

このような課題は、いわゆる構造改革という名の下に進められた国の政策や、少子高齢化による人口構成の劇的変化、あるいは産業のグローバル化など、構造的ともいえる問題に由来するなど、克服するには困難さを伴う大きな問題であると感じているところであります。

岩手県といたしましても、「いわて希望創造プラン」を策定し、二つの基本戦略と6本の政策の柱により様々な取り組みを行ってまいりますが、今後においても、岩手を取り巻く環境や県民生活、県民経済の実態を十分に把握し、問題の本質を突き詰めて対応策を講じていくことが必要と考えております。

しかしながら、県だけでは、このような状況を十分に把握するということは困難であり、また、県民経済と県民生活の全般にわたり、「官」が主導していくといった古き良き時代のやり方で答えを見いだすことには限界感がありますことから、県内の情報や英知を集め、課題への取り組みを実践していく、いわば地域の総力を挙げて取り組むといった「新しい仕組みづくり」が必要ではないかと考えていたところであります。

こうした中、同じような認識を持つ方々と集い協議を行いましたところ、岩手の将来的な発展方向を共有しつつ、地域の自立と活性化に向け、県内の産業界・経済界、大学、企業、NPO、民間団体、そして行政といった様々な、多様な組織が連携と協働を強化し、志の高い会員の皆様の智慧と行動力を結集する場として「いわて未来づくり機構」を設立することといたしましたものであります。

機構では、ラウンドテーブルにおいて、それぞれのメンバーの問題意識からインフォーマルな立場で意見交換をし、必要に応じて提言を行ってまいります。私もメンバーとして積極的に議論に参加いたします。

実務者の方々で構成される作業部会では、ラウンドテーブルの議論をもとに、官民一体での調査研究や企画立案、そして実践を行うこととしております。

また、会員の皆様をネットワークで結び、岩手を取り巻く環境や市場の動向、さらに岩手の持つ様々な資源などの情報、あるいはラウンドテーブルや作業部会の議論などの情報を共有いたします。このような中から、良いアイデアや事例などがあれば、会員の方々がすぐに取り入れて行動していくという実践の活動が展開されることに期待しているものであり、県としても、できることはすぐに実行していきたいと考えております。

岩手には、危機を乗り越えるための多くの可能性があります。それは、高いクオリティを持つ農林水産物、集積が進むものづくり産業、平泉を始めとする歴史遺産や自然など豊富な観光資源、そして地域づくりの力などです。

この機構を通じ、多くの組織が智慧と行動力を結集することにより、岩手の持つ可能性を確かなものにして、危機を希望に変えていくことができると信じております。

本日は、設立総会に加え、ラウンドテーブルメンバーから現状認識、機構の理念や取組方法についてプレゼンテーションを行いますとともに、会場の皆様との意見交換を行いながら目指す方向などを共有し、取組テーマを決め、機構として活動を開始することとしております。

組織の連携と実践を通じ、地域の総合的な発展を目指す「いわて未来づくり機構」。この活動は全国で初めての取り組みであり、その活動は自治のモデルとなり得ると考えております。

県も参加機関のひとつとして積極的に活動に参加してまいります。機構の活動は会員の皆様の活動が基軸となるものでございますので、どうか今後とも機構の活動に積極的に参加されますようお願いを申し上げます、ごあいさついたします。

平成 20 年 4 月 24 日

呼びかけ人代表 岩手県知事 達増 拓也